



笠間の輝く女性たち ③

女性農業士の熱き思い

茨城県知事の認定を受け、地域農業の女性リーダーとして、農業経営や農業後継者の育成など、地域農業の振興を目的に活動をしている女性で、県内には237人、笠間市内では8人の女性農業士が活躍しています。大和田さんは、平成14年に女性農業士として認定され、平成21年4月から副会長に、また、農業士会の笠間支部である笠間ワーキングミセスの会会長を務められています。農業を担う若い方たちとの交流を深め、地域農業を支える後継者を育成したいと熱く語ってくれました。



田植作業に汗を流す大和田さん

市内には各分野で女性としての先駆者となって活躍している方がいます。このコーナーでは、そんな新天地を切り開き、輝きを放つ笠間の女性を紹介し、男女共同参画社会の実現を目指します。

インタビュー

茨城県女性農業士会副会長

大和田 悦子 さん(矢野下)

女性農業士会副会長を務めながら、ご自身もご家族と一緒に米づくりに汗を流している大和田さんにお話を伺いました。

①農業の魅力は？

一つ一つの作業が終わるたびに作物の成長を実感でき、忙しさの中にも充実感が味わえます。祖父や子どもたちも、家庭内のことから農作業まで、いろいろと協力をしてくれるので大変感謝しています。農作業を通じて家族のよい関係を築いています。

②今後の目標は？

夫と共に今後も農業を続け、消費者ニーズにあった作物を栽培していきたいです。また、家族の共通の趣味であるバイクに乗って旅行に出かけたいです。

夫の仕事が少しでも軽減するようにと、昨年からは悦子さんが田植えをしているそうです。「車の運転のようにはいかず、まっすぐに苗を植えるのが難しい」と笑顔で話してくれました。この記事が読まれる頃には、水田一面が緑に覆われていることでしょう。

問合せ：男女共同参画推進室（内線224）



かさま ぽけっと

子育て支援のページ

3



5月8日に開所した笠間地区子育て支援センター

子育て親子交流の場『子育て支援センター』のご案内

子育て家庭の親とその子どもが気軽に集いあい、打ち解けた雰囲気の中で語り合い、相互交流を図る場として「子育て支援センター」を市内に2カ所開設しています。

育児情報の提供や保育士による子育て相談・育児講座などを開催していますので、ぜひご利用ください。

◆(岩間地区) 子育て支援センター

施設名称 くりのこ

開設場所 市民センターいわま 1階

開設日時 毎週月・水・金曜日 午前10時～正午、午後1時～4時

◆(笠間地区) 子育て支援センター

開設場所 笠間ショッピングセンター 2階・ポレポレルーム

開設日時 毎週火・木・金曜日 午前10時～正午、午後1時～4時

※いずれの施設も市内に住所がある未就学児と保護者であれば利用できます。(地区の制限はありません)

※祝日・年末年始・お盆の利用はできませんのでご注意ください。

かさまぽけっとアドレス

<http://www.city.kasama.lg.jp/kosodate/index.html>

問合せ：子ども福祉課（内線164）

人口と世帯数（常住人口5.1 現在）

●人口	79,958人（－108人）
●男	39,176人（－57人）
●女	40,782人（－51人）
●世帯数	28,008世帯（＋40世帯） （前月比）

○広報かさまに掲載されているあなたの写真を上げます。お問合せは秘書課(内線225)まで。



再生紙を使用しています。

○市ホームページモバイル版では、行政・災害などのさまざまな情報をお届けしています。
アドレス
<http://www.city.kasama.lg.jp/mobile/>

